

令和6年11月18日

鶴岡市教育委員会

教育長 布川 敦 様

藤島地域小中学校整備検討委員会

会長 萬年 義憲

藤島地域小中学校整備検討に係る藤島地域住民の意向の
とりまとめ結果について（報告）

施設一体型の小中一貫校（義務教育学校）の整備に関し、藤島地域住民の意向を
とりまとめた結果について、附帯意見を添えて下記のとおり報告いたしますので、
本報告を尊重の上、整備を推進くださるようお願いいたします。

記

1 とりまとめ結果

施設一体型の小中一貫校（義務教育学校）の整備に賛成である。

2 附帯意見

（1）教育課程の編成について

教育課程の編成にあたっては、小学校卒業に代わる節目の行事を行
うなど児童・生徒の成長の機会確保に努めるとともに、地域の伝統行
事の継承が図られるよう配慮し、地域の魅力が失われないよう、地域
活性化に繋がる魅力ある学校づくりに取り組まれない

（2）教育環境の整備について

児童・生徒、教員にとってより良い教育環境となるよう、幼保小の
円滑な接続に向けて丁寧な連携を図るとともに、適切な教員体制整備
と教員のレベルアップに取り組み、環境変化に適切に対応できるサポ
ート体制を整えられたい



(3) 通学支援対策について

スクールバス運行等の通学対策の検討にあたっては、遠距離通学の児童・生徒とその保護者の負担軽減のため、乗車時間については概ね30分以内を目途にし、乗車場所の位置にも配慮されたい

(4) 安心感の醸成について

年齢の離れた児童・生徒間の安全面や、いじめ発生時の長期化、教員の負担増等に対する不安の声があることを認識し、児童・生徒、保護者、教員等関係者の意見を聞き、不安の解消、課題の解決に努められたい

(5) 周辺諸施設整備との一体的な検討について

学校施設及び藤島文厚エリア諸施設の整備について、複合化、動線の確保、地域住民と交流を図れる施設のあり方等の観点から、関係部局とともに一体的に検討し、施設の将来像を示されたい

(6) 学校施設整備等について

新しい学校施設の建築について可能な限り早期の竣工を目指すとともに、閉校後の旧校舎等の利活用について、地域住民とともに検討されたい

渡前小学校区懇談会からの要望として、新校舎竣工前の小学校統合について子育て世代の保護者をはじめ地域の意見を聞き、三つの小学校が同じスタートラインとなる新設統合を前提として検討されたい